

# 施策評価シート（平成26年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	3-1	政策名	子育て環境の充実	政策の 目指す姿	子育てに喜びを感じ、安心して、健やかな成長を育んでいます	施策 主管課	こども課	施策主管 課長名	小田中清子
	施策No.	1	施策名	子育て支援の充実	施策の 目指す姿	安心して子育てしています	関係課名	地域福祉課、健康づくり課、国保医療課		
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のつながりの希薄化や核家族化などにより、子育て環境が不安定化・孤立化する傾向にあり、子育てにおける不安や悩みに関する相談が増加しています。</li> <li>・学童クラブによっては入所希望が増加し、整備が必要となっている。</li> <li>・子どもが乳児の時期から就労している父母の増加に伴う保育所入所率の上昇により、延長保育や一時預かりなどの保育ニーズの多様化が見られます。</li> <li>・児童虐待が大きな社会問題となっており、本市においても児童虐待等要保護児童に関する相談が増加しています。</li> </ul>								

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1) 子育て支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども・子育て支援新制度の計画（イーハートブ花巻子育て応援プラン）を策定した。</li> <li>・保健師、看護師、助産師等による子育て相談を実施した（随時、定例、予約、巡回）</li> <li>・親子あそび広場、季節イベント、子育てミニ講座、食育講座を実施した。</li> <li>・子育てサークル支援、子育てボランティア交流などを実施した。</li> <li>・乳幼児の発達障がいや早期に発見し、発達を促すための総合的な指導・援助を行った。</li> <li>・ひとり親家庭及び小学生の児童を持つ保護者に対して医療費を助成した。</li> </ul>
(2) 保育サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育、一時預かり保育、病後児保育など多様な保育ニーズに対応し、保育サービスを提供した。</li> </ul>
(3) 地域における子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て家庭を支援するため、子育て中の親子の交流促進、子育て相談、講習会、情報提供を行った。</li> <li>・地域にある園の園舎、園庭を就園前児童親子に解放を行った。</li> <li>・保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対して放課後遊びや生活の場を与えて、その健全な育成を図った。</li> </ul>
(4) 児童虐待防止対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関の連携や地域等での見守りを推進した。</li> <li>・婦人相談員、家庭相談員による相談対応。</li> <li>・要保護児童地域対策協議会を開催した。（年12回）</li> </ul>

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
市の子育て相談体制に満足している保護者の割合	子育てに関する保護者の不安等を解消する環境となるよう、その相談体制の充実度に対する保護者意識を示す指標	出典：花巻市3歳児検診アンケート 問：花巻市の子育て相談体制についてお伺いします。花巻市の子育てに関する相談体制は十分だと思いますか。	%	目標値				86.0	88.0	90.0
				実績値	—	—	84.2	79.9		
子育て支援サービス（延長保育、一時預かり、体調不良児保育）を実施可能な施設の割合	多様化する保護者の保育ニーズに対応する保育施設が充実するよう、子育て支援サービス実施可能な施設の状況を示す指標	出典：こども課 算定方法：市が実施する各種保育サービス（延長保育、一時預かり保育、体調不良児保育）を実施可能な保育所の割合	%	目標値				57.8	58.8	59.8
				実績値	56.3	58.8	56.9	56.9		
保育所の待機児童数	保護者が仕事と家庭の両立に資する子育てサービスの充実状況を示す指標	出典：こども課 3月入所調整後の3月1日現在の待機児童数	人	目標値				31	29	0
				実績値	44	24	33	29		

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成果指標「市の子育て相談体制に満足している保護者の割合」・・・【達成度b】</li> <li>・H25より若干下がっている要因として、アンケートから健診の待ち時間についての改善を求める声があり、要因として考えられるが、子育て相談については保健センターはもちろん、こどもセンター、地域の子育て支援センター、保育園、幼稚園などの対応が丁寧であるという声が多く寄せられ8割に近い方の評価につながっていると考える。</li> <li>■ 成果指標「子育て支援サービスを実施可能な施設の割合」・・・【達成度b】</li> <li>・H25に保育士不足により、延長保育サービスを休止した園があったが、H26においては保育士を確保し延長保育サービス提供することができた。しかし、体調不良児保育については看護師を確保出来ずにサービス提供ができなかった園が1園あり、目標値に至らなかった。</li> <li>■ 成果指標「保育所の待機児童数」・・・【達成度a】</li> <li>・待機児童については養成学校への訪問、潜在保育士の掘り起しなど保育士確保に努め、目標値を達成した。</li> </ul>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	子育て推進事業	こども課	A	B
	次世代育成支援行動計画の総括を行いながら、子ども・子育て支援事業計画「イーハトーブ花巻子育て応援プラン」を策定した。子ども・子育て支援新制度の施行に向けた各種基準の条例を制定と施行準備に努めた。			
2	子育て支援家庭訪問事業	健康づくり課	B	B
	4か月までの乳児がいる家庭を全戸訪問し、子育て相談、情報提供などを行う。 乳児家庭訪問数 659人 養育家庭訪問数 126人			
3	地域子育て支援センター事業	こども課	B	A
	親子の交流促進、子育て相談、講習会、情報提供などを行う。 子どもセンター利用者 17,156人			
4	はなまきファミリーサポートセンター事業	こども課	B	A
	有償ボランティアによる児童の預かり、送迎などを行う ファミリーサポート利用者数 2,411人			
5	発達相談事業	こども課	B	B
	乳幼児の発達障がい相談、指導、援助を行う。 発達相談児童数 126人			
6	ひとり親家庭医療費助成事業	国保医療課	B	-
	配偶者のない者で、18歳までの児童を扶養している者、その扶養を受けている児童、父母のない児童に対して医療費を助成する。 受給者数 2,267人			
7	小学生医療費助成事業	国保医療課	B	-
	小学校の児童を持つ保護者に対して医療費を助成する。 受給者数 2,892人			
8	児童手当・児童扶養手当支給事業	地域福祉課	C	B
	【児童手当】中学校修了前の児童を養育している者に手当を支給。支給対象児童数(年度平均11,045人) 【児童扶養手当】ひとり親家庭で18歳に達した日の属する年度末までの児童を養育している者に所得に応じて手当を支給。受給者数(年度平均987人)			
9	子育て家庭支援給付事業	地域福祉課	C	B
	母子家庭の母、父子家庭の父に教育訓練、高等職業訓練などに係る経費の一部を給付金として支給する。 制度を利用した母子、父子世帯の数 2世帯			
10	保育サービス向上事業	こども課	A	B
	私立保育園による多様な保育サービスの提供への補助(延長保育19園、一時保育15園、病後児保育5園、障がい児保育7園、保育所地域活動10園、子育て支援センター3園)			
11	保育委託事業	こども課	A	A
	市内私立保育園19園、市外私立、公立保育園17園に児童保育運営を委託している。			
12	保育施設運営支援事業	こども課	B	B
	私立保育園の保育環境を維持、管理の運営費に対して支援を行う。 待機児童 H26 29人			
13	保育施設環境整備支援事業	こども課	B	B
	私立保育園の施設整備に係る償還金に対する補助を行う。 八幡・新堀・土沢の3園に8,025千円			
14	児童育成支援事業(繰り越し事業)	こども課	C	B
	子ども・子育て支援新制度に対応するため、新たな電子システムを構築し、円滑な制度移行を行う。			
15	児童保育事業(繰り越し事業)	こども課	B	B
	矢沢保育園施設整備補助			
16	放課後児童支援事業	こども課	A	C
	放課後の児童の安心安全な場所の確保を行う。 学童クラブ事業委託 21か所 学童クラブ利用児童数857人 放課後子ども教室 2か所			
17	家庭児童相談事業	地域福祉課	B	A
	児童虐待等児童の養育相談、訪問調査、指導援助等を行う。 相談受理児童数211人 要保護児童地域対策協議会の開催(年12回)			
18	児童養育事業	地域福祉課	C	B
	家庭において一時的に養育が困難になった児童の養育・保護を行う。 利用延べ児童数 6人			

## 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

まち・ひと・しごと創生推進本部「若者定住・子育て支援」専門部会において別途検討中。

## 6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・保育士不足のため産後や育休明けの年度途中の保育ニーズに応えられずに待機児童が発生している。
- ・保育園のクラス担任の52%を臨時保育士が担っている状況にあるが、命を預かる責任の重大さから臨時的保育士が担任を敬遠する傾向にあり、確保することが困難になってきている。このため、安定した保育運営や待機児童の解消のため、任期付職員など採用について公立保育所の再編と合わせ検討が必要である。
- ・学童クラブは花南地区において入所希望児童が増加しており、一部法人での学童クラブ設立の意向が示されるなど、新制度の基準に合わせ、既存の学童クラブとの調整が必要となっている
- ・地域との関係が希薄となり、一人で悩みを抱え込み、社会から孤立化している保護者もいることから、児童虐待の未然防止も含め、気になる段階からきめ細やかな支援が必要とされている。

(今後の方向性)

- ・「イーハトーブはなまき子育て応援プラン」を推進し、待機児童の解消や子育て環境の充実を図る。
- ・公立保育所再編指針に基づき民営化を促進し、多様な保育サービスの提供や公立保育所のクラス担任の正職化を図る。
- ・花南地域における入所希望増による学童クラブの整備を検討する。
- ・児童虐待の早期の相談対応や見守りを強化し、通報義務等について市民の児童虐待への意識啓発を行うとともに、保育園・幼稚園・学校・民生児童委員など関係機関との情報共有を図りながら適切な相談支援を継続して行う。